



宮城県慶長使節船ミュージアム
開館 30 周年記念企画展

原画初公開！

山口晃 ファ士クラ渡海遣欧奇

から読み解くトリビア 10

2026 10.24(土)
2027 2.1(月)

宮城県慶長使節船ミュージアム 企画展示室

イベント

企画展関連講演会

「作家とひもとくファ士クラ渡海遣欧奇」

作者の山口晃先生をお招きし、作品の魅力を紐解いていきます

日 時 : 令和8年10月24日(土)
13:30~15:00 (13:00開場)

会 場 : 宮城県慶長使節船ミュージアム セミナールーム

参 加 費 : 無料 ※要入館料

講 師 : 山口 晃 氏 (画家)

聞 き 手 : 加藤 幸治 氏 (武蔵野美術大学教授)

申 込 み : 事前申込制です。
こちらの二次元コードよりお申込みください。

申込開始 : 8月26日(水) 9:00~ ※定員に達し次第終了



ギャラリートーク

開 催 : 令和8年11月15日(日)・22日(日)

会 場 : ①11:00~ ②13:00~

料 金 : 宮城県慶長使節船ミュージアム 企画展示室
無料 ※要入館料

講 師 : 加藤 幸治 氏 (武蔵野美術大学教授)

山口晃

山口 晃 / YAMAGUCHI Akira

画家

1969年 東京都生まれ 群馬県桐生市に育つ



東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程修了(1996年)。日本の伝統的絵画の様式を用い、油絵という技法を使って描かれる作風が特徴。都市鳥瞰図・合戦図などの絵画のみならず立体、漫画、インスタレーションなど表現方法は多岐にわたる。国内外展示多数。2019年のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」のオープニングタイトルバック画を担当。2025年初の漫画雑誌連載作『趣都』(講談社)を刊行。

本展示では、「伊達の黒船」サン・ファン・パウティスタ号が月浦港から出航した壮大な航海にちなみ、現代の旅の出発地・成田国際空港を舞台に山口晃先生が手がけたパブリックアートに関連する版画作品2点も展示いたします。

展示詳細

入 館 料 : 一般 500 円 (高校生以下無料)

開 館 時 間 : 9:30 ~ 16:30 (最終入館16:00)

休 館 日 : 毎週火曜日(祝日を除く) 年末年始(12/28~1/4)

問 合 せ : 0225 - 24 - 2210

主 催 : 公益財団法人慶長遣欧使節船協会

後 援 : 宮城県 石巻市 石巻市教育委員会

河北新報社 三陸河北新報社(石巻かほく)

石巻日日新聞社 石巻コミュニティ放送(ラジオ石巻)

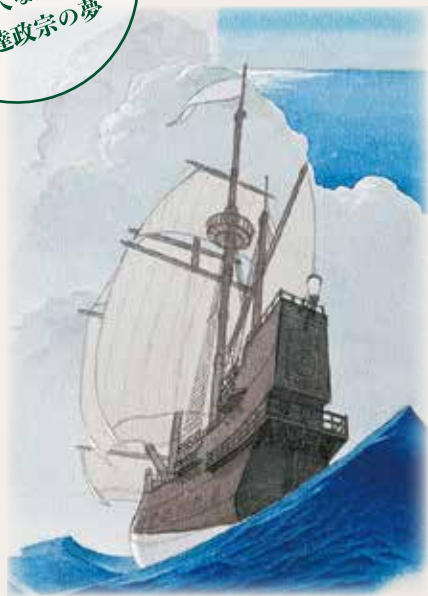
監 修 : 加藤幸治 (武蔵野美術大学教授)



山口晃 ファ士クラ渡海遣欧奇

から読み解くトリビア10

慶長遣欧使節はなぜ
三つの大海を渡ったか？



太平洋・地中海の
壮大な旅と
伊達政宗の夢

原画は本邦初公開。

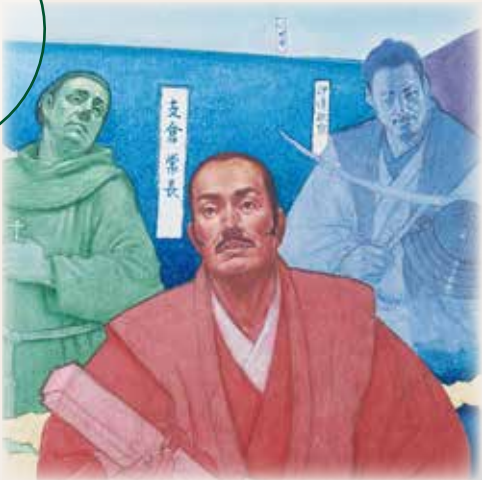
原画ならではの迫力や筆遣いをお楽しみください！

ローマ教皇と
謁見の目的は？
航海の目的は？
海外見られたか？



通商の夢の
その後と禁教令、
帰国後の彼らの
運命は…

航海のキーパーソンたちが
担った役割とは？



支倉常長、
ルイス・ソテロ、
セバスチャン・ビスカイノ

出帆の地
牡鹿半島と
今も地域に残る
史跡



ガレオン船「伊達の黒船」は
どう建設されたか？

本展示は、サン・ファン館開館30周年記念として、次の二つの目的で企画します。

第一に、本作品を構想して描いた画家、山口晃先生による原画等の初公開の展示です。展示制作のために描かれた原画は、さらなる加筆によって展示とは独立した作品となっています。本展示では、このいわばもう一つの「ファ士クラ渡海遣欧奇」に込められた画家の意図について解説します。

第二に、本作品に描き込まれた数多くのモチーフから、10のトリビアを派生させ、支倉常長の壮大な旅の軌跡や、大型木造帆船の建造にまつわるストーリー、慶長遣欧使節にゆかりのあるスペインやイタリア、メキシコの文化から見る「仙台藩をめぐるグローバルヒストリー」を読み解きます。

過去の企画展「牡鹿半島・海と浜のトリビア10」(2021)、「同 続トリビア10」(2022)に続く第3弾として位置付け、常設展示を、幅広い世代に深く知っていただく視点を提示します。

本展監修者 加藤幸治
(武蔵野美術大学教授)

